

2023年3月31日  
株式会社三菱UFJ銀行

## 太平電業株式会社と「ESG 経営支援ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型融資商品である「ESG 経営支援ローン（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループの一員である三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の融資商品となります。

本日、太平電業株式会社（代表取締役社長 のじり じょう 野尻 穰）は、本商品にてタームローン契約を締結いたしました。また、MUFG ESG 評価において、「十分な ESG 経営」であるとの評価を受けました。

太平電業株式会社（太平電業グループ）は、昭和 22 年の創立以来、プラント建設事業の「意義」と「使命」を自覚し、積極進取の精神のもと、国内外の火力・原子力発電所をはじめ、各種プラント・環境設備等の建設工事・メンテナンス工事を手がけてまいりました。近年、企業を取り巻く環境は大きく変化し、国のエネルギー政策は重要な転換期を迎えております。太平電業は豊富な経験やこれまで培ってきた施工技術を最大限に活用し、品質向上と安全確保を図り、産業社会の繁栄に貢献するとともに、社業の発展にも最善の努力を尽くしてまいります。

### 【高く評価を受けた ESG に関する取り組み】

ESG（サステナビリティ）全体：

- ✓ ESG 領域における取り組み方針に言及した「太平電業企業行動憲章」を策定している点
- ✓ 専用のウェブページを開設し ESG に関する情報を提供している上で、毎回の決算説明資料においても ESG に関する情報提供を実施している点

環境側面（E）：

- ✓ 外部環境変化について複数のシナリオを設定し、事業に関連したリスクと機会の特定を実施している点
- ✓ 再生可能エネルギー発電設備の建設・メンテナンスに取り組んでいる点

社会側面（S）：

- ✓ 女性雇用に関する定量目標および目標達成に向けた具体的な取り組みを公表している点
- ✓ 自社の事業が地域コミュニティに与える影響に関して、地域住民と対話の機会を設けている点（例：広島県の西風新都バイオマス発電所での取り組み）

ガバナンス側面（G）：

- ✓ 取締役の選任プロセスにおいて、多様性、独立性、専門知識や経験等を踏まえた選任基準を設定しており、加えて取締役を選任する際は指名・報酬諮問委員会の諮問を受けることとなっている点
- ✓ 個別のリスクについては社内の担当部署が担当し、経営に大きな影響を及ぼすリスクについては対策本部長である代表取締役社長が関係部署を招集し、対策本部を組成して迅速にリスク低減に向けた対応を実施するという形で、全社的なリスク管理体制を構築している点

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上